

みんなので育む いたこの未来

子どもは社会の希望であり、未来を築く大いなる力です。潮来市では、令和6年4月より「こども家庭センター」を設置し、妊産婦や子育て世帯、子どもへのさらなる支援の充実・強化を図っていきます。そこで今回は、潮来市の子育て支援の取り組みについて紹介します。妊娠から子育てまで、様々な取り組みを行っておりますので、各制度をぜひご利用ください。



令和6年4月1日より、新たに「こども家庭センター」をかすみ保健福祉センターに設置

「こども家庭センター」は、これまで「子ども家庭総合支援拠点」(子育て支援課)と、「子育て世代包括支援センター」(かすみ保健福祉センター)において実施していた相談・支援等の機能を統合した窓口です。①妊産婦や乳幼児の保護者に対応する母子保健と、②様々な不安や悩みを抱えた子育て家庭の相談に対応する児童福祉の機能を統合し、妊娠から子育てまで、切れ目のないサポートを行います。



潮来市の子育て支援を紹介します



この他にも切れ目のないサポートを行っています!

妊娠・出産

ウェルカムベビー教室

赤ちゃんを迎える前に知っておきたい、妊娠中の身体と栄養のお話や、沐浴指導を行っています。

授乳服等のプレゼント

赤ちゃん連れでの外出に役立つ授乳服やマザーズバッグ等が選べるギフトカタログをプレゼントしています。

産後ケア事業

お子さんが生後4か月未満または12か月未満でケアが必要な方へ、医療機関等での訪問・日帰り・宿泊による母子の心身のケア、育児手技の指導等を行っています。

育児

赤ちゃん訪問

生後2か月頃、保健師がすべてのお家に訪問し、体重測定・予防接種のお話・育児相談等を行っています。

育児相談

(4か月・7か月・1歳)

身体計測、育児相談、栄養相談等を行っています。

ブックスタート

親子のコミュニケーションに役立つ絵本の読み聞かせ。「はじめての絵本」にぴったりな2冊の絵本を1歳児育児相談にてプレゼントしています。

就学

新入学児童記念品プレゼント

市内小学校に入学する新1年生全員にランドセルをプレゼント。入学式当日に配布しています。

給食費の完全無償化

市内小中学校に在籍する児童生徒の給食費を完全無償化し、市外小中学校に在籍する児童生徒に対しては、市給食費相当額を上限とした補助金の交付を行っています。

自転車用ヘルメットの無償支給・購入費用の助成

New!

令和6年度より、新中学1年生に自転車用ヘルメットの無償支給を行います。18歳以下の方には、本年1月以降に購入した自転車用ヘルメットの購入費用の一部助成を開始しました。

みんなおいでよ! 子育て広場

お父さんお母さん・子どもの交流、
息抜きにも



子育て広場は、乳幼児と保護者が自由に参加できる安心・安全な「ふれあいの場」です。子どもたちは沢山のおもちゃで自由に遊ぶことができます。また子育てをがんばるお父さんやお母さんが同年齢のお子さんを持つ仲間同士でお話をしたり、情報交換の場としても。支援員が常駐していますので、お子さんとの楽しい遊び方を教わったり、子育てに関する相談もできます。ぜひお気軽にお越しください。

【予約不要・参加無料・出入自由】

- ・自由遊び(おもちゃ・絵本・三輪車・砂場など)
- ・図書館スタッフが厳選した人気絵本の読み聞かせ会(第1木曜日、第2金曜日)
- ・身長・体重計測会(月1回)
- ・その他、季節ごとのお楽しみイベントも!

利用者の声

同じ月齢ぐらいのお母さんと情報交換ができて嬉しいです。1歳の息子は目が離せませんが、ここに来るとスタッフさんたちの目もあるので、家で一人で見ている時より少し気が楽になります。読み聞かせ会やリトミック講座などのイベントも親子で楽しんでいます。

週に3~4回は来ています。家だけだと子どもが飽きてしまうので、ここに来て色々なおもちゃで遊んだり走り回ったり、沢山遊べて助かります。

日時・場所

- ・毎週 月・火・木曜日：
旧うしぼり幼稚園(堀之内984-1)牛堀中学校正門前
 - ・毎週 金曜日：中央公民館(日の出3-11)
- 両会場とも午前10時~正午、午後1時~4時
※祝日・お盆・年末年始は休み
(日程の詳細は市ホームページをご覧ください)



市ホームページ



スタッフの思い

核家族化が進み、近くに子育てについて相談できる場所が少なかったり、反対にどれを信じたらいいかわからないほど子育てに関する情報が溢れている今の時代。子育て広場は、お父さんお母さんにとってホッとできる場所でありたいと思っています。

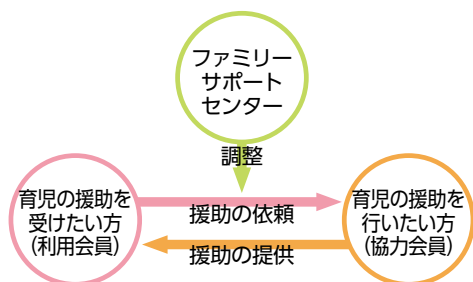


【お問合せ】 子育て支援課 ☎63-1111 内線386

地域で子育て いたこファミリーサポートセンター

をご利用ください

残業があり子どもを迎えに行けない、放課後や休日に子どもを預かってもらいたい、学校行事や冠婚葬祭のためきょうだいを預けたい。子育てを経験した人は思ったことがあるのではないのでしょうか。こうした問題を地域で助け合う組織が、いたこファミリーサポートセンターです。子育ての援助を受けたい人(利用会員)と援助を行いたい人(協力会員)が会員となり、会員同士でお子さんの一時的預かりや送迎などを行います。いたこファミリーサポートセンター事務局は、その橋渡し役として利用会員と協力会員の引き合わせと連絡調整を行います。



基本料金

時間帯	基本料金
月～金 7時～19時	1時間当たり 700円 (自己負担金300円)
土日祝日・上記以外	1時間当たり 800円 (自己負担金400円)

基本料金1時間あたり700円(800円)のうち市から400円の助成があります。

利用会員・協力会員になるには？

子育て支援課窓口にてお申込みください。来庁できない場合はお電話ください。援助してほしい方、援助したい方、ぜひ一度ご連絡ください！

- 具体的な利用の予定がなくても、利用会員として登録することができます。
- 協力会員として活動できる曜日が不定期でも、またその時間が短くても大丈夫です。ご夫婦での登録も大歓迎です。



活動の様子

協力会員の諸星愛子さんのお宅で、一時預かりの様子取材させていただきました。諸星さんはこの日、お母さんとお兄ちゃんが3歳児健診に行っている間、1歳の男の子の一時預かりを行いました。「保育士を早期退職した後、少しでも地域の役に立てればと思い会員に登録しました。子どもと一緒にいるとエネルギーをもらえるので、会えるのが楽しみです。久しぶりに会うととても大きくなっていたり。」と笑顔で話す諸星さん。迎えに来たお母さんも「誰も預かってもらえる人がいない時に利用させていただいています。何時から何時までというように細切れの時間で預かってもらえるのでとても助かっています。」と話してくれました。



最初は泣いていたけれど、いつの間にか諸星さんの腕の中でずやすや…。

活動への素朴な疑問にお答えします

Q1 子どもを預かってくれる人はどんな人？

A お子さんを預かるため、協力会員は安全・事故対策も含めた援助活動に必要な講習を受けています。また活動前には、会員同士の顔合わせを行います。

Q2 協力したいけれど、ひとりで預かるのは不安…。

A イベントの時など、公共施設で行う集団預かりもあります。できる範囲でご協力ください。

Q3 預かった子どもがもし事故にあったら…。

A 万一のケガや事故に備えて補償保険に加入しています。保険料の個人負担はありません。詳細はお問合せください。

Q&A



集団預かりの様子

【お問合せ】 いたこファミリーサポートセンター (直通) ☎63-1779